

はじめに

本校職員の研究紀要「古仁屋紀要」第15号がホームページに掲載する形で発行されるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

本研究紀要は3年に1回、職員が日々行っている授業等の教科指導や進路指導、部活動指導、特別活動等の教育実践や研修・研究の一部を掲載してあります。

本校は、「自主自立」「敬愛和協」「明朗端正」「勤勉誠実」の校訓のもと建学の精神を大切に守り、地域の最高学府として、地域と共に歩み、地域に支えられて躍進してきました。今年創立89周年を迎える歴史と伝統のある高校です。普通科学年2学級で、2年次からコース選択制（進学コース、情報ビジネスコース）となります。さらに、きめ細かな少人数指導と個別指導で確実な進路実現を目指します。授業、行事、部活動、ボランティア活動において、『ひとりひとりが主役』をスローガンに掲げ、教職員一丸となって取り組んでおります。

さて、高等学校改革に関する最近の動向を見ると平成34年度から実施する高等学校学習指導要領の改正や高大接続改革で平成30年4月に高校に入学する生徒から大学入試センター試験に替えて大学入学共通テストが始まることへの取り組み。また、平成29年3月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び社会教育法の改正による地域と学校の連携・協働の推進への取り組みや「Society 5.0」に向けた人材育成への取り組みなど時代の変化とともに学校・教師へ求められるものが変化しています。その中で、私たち教師は時代の流れを読み、生徒の実態や取り巻く社会環境を踏まえて教育実践をしていく必要があります。そのためには、研修や研究は必要不可欠だと考えます。

この研究紀要を読むことによって自らの資質・能力を高め、生徒達の進路指導や生徒指導・支援等に創意工夫をし、今後の教育活動の糧となり、諸々の教育課題の解決の一助になれば幸いです。

終わりに、多忙な中、執筆・編集の任に当たった職員各位に心よりお礼と感謝を申し上げます、発刊の挨拶と致します。